

**中国地方における基幹的な交通基盤
の整備について（要望）**

平成 17 年 8 月

中国経済連合会

要望の趣旨

中国地方は、豊かな自然、歴史、文化や産業技術などの地域資源を活かして、四国地方とともに東西南北方向に多様で活発な交流・連携を展開することにより、「中四国経済文化交流圏～環三海二山交流圏～」を形成することを目指しており、中国経済連合会は、環三海二山交流圏の形成に向けて、地域連携軸の形成、広域都市圏の形成、広域観光、産学官の連携、情報化などに鋭意取り組んでいるところであります。

中国地方は、個性を持った大小さまざまな都市が適度に分布した分散型の地域構造となっており、各地域がその個性を活かしながら広域にわたる交流・連携を進め、地域の一体的発展を図るためには、それを支える基幹的な交通基盤の整備が是非とも必要であります。

また、市町村合併の進展、道州制の導入などが論議されるなか、個性と活力ある分権社会を形成するためにも、交通基盤の整備が不可欠であります。

さらに、中国地方のポテンシャルを活かして、「安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり」「中国の美しく豊かな自然・歴史・文化などを活かした地域づくり」「競争力のある地域経済社会の再構築」「周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化」を図る観点からも、地域の交通基盤整備は重要な課題であります。

本要望は、以上のような観点から当連合会の交通問題委員会（委員長：大田 哲哉 広島電鉄(株)代表取締役社長）において審議を行いとりまとめたものであり、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

要 望 事 項

中国地域の一体的な発展のために交流と連携を促進するため、特に下記の事項について十分にご配慮いただき、基幹的な交通基盤の計画的かつ早期の整備について、格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

記

1．高規格幹線道路ネットワークの整備

「中四国経済文化交流圏～環三海二山交流圏～」の形成のため、国の責任により高規格幹線道路ネットワークの計画的かつ早期整備を図っていただきたい。

- (1) 中国横断自動車道・尾道松江線（尾道～三刀屋木次）
- (2) 中国横断自動車道・姫路鳥取線（佐用～鳥取）
- (3) 山陰自動車道（鳥取～美祢）

2．地域高規格道路等の整備

中国地方は分散型都市構造を特徴としており、地域の有機的な連携を図るためには、都市間道路が必要不可欠であります。さらに、地域発展の核となる中枢・中核都市圏内の高速道路の整備が重要であります。このため、関連地域高規格道路等について、計画的かつ早期に整備促進を図っていただきたい。

- (1) 広島都市圏自動車専用道路網（指定都市高速道路）
- (2) 岡山・倉敷都市圏道路
（岡山倉敷道路、倉敷福山道路等）
- (3) 都市圏環状道路（鳥取、福山、岡山等）
- (4) 下関北九州道路（関門海峡道路）

3．既存ストックの有効活用の促進

地域産業の振興を支援し、地域間の交流や産学官の連携を促進するための高速道路・空港・港湾等へのアクセス道路など、基幹的な交通基盤の相互連携を勘案した一体的整備を図っていただきたい。

特に、地域の国際拠点空港である広島空港について、軌道系も含めたアクセスの早期改善を、また、中核国際港湾である広島港については、高速道路とのアクセスの早期改善を図っていただきたい。

また、西日本高速道路株式会社等、新会社発足を機に、高速道路の利用促進を図るため、これまで以上に地域の特性を考慮した弾力的な料金設定、生活道路の役割も考慮したICの増設、ITSの積極的な導入など図っていただきたい。

4．財源の確保

交通基盤の円滑な整備のために必要な財源の確保を図っていただきたい。

以上

平成 17 年 8 月

中 国 經 濟 連 合 会

会		長	高	須	司	登
副	会	長	八	村	輝	夫
副	会	長	米	原	正	博
副	会	長	丸		磐	根
副	会	長	皆	美	健	夫
副	会	長	稻	葉	侃	爾
副	会	長	岡	崎		彬
副	会	長	池	内	浩	一
副	会	長	宇	田		誠
副	会	長	德	永	幸	雄
副	会	長	渡	辺	一	秀
副	会	長	長	廣	眞	臣
副	会	長	林		孝	介
副	会	長	福	田	浩	一
交通問題委員会委員長			大	田	哲	哉
交通問題委員会副委員長			古	瀬		誠
交通問題委員会副委員長			末	長	範	彦
交通問題委員会副委員長			齋	藤	宗	房